

平成 29 年度地域密着型特別養護老人ホーム桐の花事業報告書

桐の花の事業運営については、入居者の方々が住み慣れた地域でこれまでの生活を継続し、家庭的な雰囲気の中で、可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、入居者一人ひとりのプライバシーや尊厳を重視し、施設サービス計画に基づき個別ケアの実践に努めました。また、地域社会に開かれ、地域に根ざした施設の運営を行うべく取り組みました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

ユニット型地域密着型介護老人福祉施設

(2) 事業規模

定員 29 名 ユニット区分 [こもれび 10 名・ぬくもり 9 名・やすらぎ 10 名]

2 事業の実施状況

(1) 生活援助

① 食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めるものであることから、楽しんで食事ができ、かつ、個々の状況に応じた栄養管理をもって、より健康に過ごせるよう努めてきました。また、ユニット内でご飯・味噌汁を作ることにより、食事を準備する音や匂いで家庭的な雰囲気を演出したり、入居者に盛り付けや下膳の手伝いをしていただくことにより、入居者の生きがいの創出ができるよう取り組みました。

② 入浴

入浴回数は一人につき週 2 回行い、さらに本人の希望により入浴できるよう毎日入浴を実施しました。また、個浴での対応を基本として、プライバシーに配慮しゆっくり入浴を楽しんでもらえるよう心掛けました。個浴での対応が困難な方においては特別浴にて対応し、移乗の際は 2 人介助で対応するなど、安全に安心して入浴ができるよう努めました。体調不良などで入浴できない時は清拭を行うことで衛生保持に努めました。

③ 排泄介助

排泄リズムの把握をし、一人ひとりに合った排泄介助の検討を行い、入居者がより快適に過ごすことができるよう努めました。

④ 自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切にし、本人の意思を確認しながら支援に努めました。また、入居者が自由で自分らしい生活が送れるよう、声掛けや行いたいことのサポートをすることに努めました。

⑤ 施設内行事・余暇活動

人と人とのふれあいの場として、喫茶店「こびり」の営業、ユニット毎に誕生会、節句や季節に応じた諸活動を行いました。また、趣味と身体機能の維持増進を図ることを目的に、体操・手芸、カラオケなどのサークル活動を行いました。

⑥ 身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとケアに取り組みました。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおいては、定期的な検証と経過観察をもって対応することに努めました。

(2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように定期的(3ヶ月～半年毎)なケア会議(63回)をもち、入居者家族と多職種間の連携をもって取り組んできました。

(3) 健康管理

入居者一人ひとりが心身共に健康で充実した日常生活が送れるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診(週1回・計48回)、健康検診(9/6・13・20)、歯科検診(5/22～26・29)、口腔ケア指導(週1回・計40回)を実施して健康管理を行いました。また、インフルエンザの流行時は、入居者・職員に対し予防接種を実施し(11月)、面会者に対してもうがい、手洗いの励行等を強化し、更にマスクの着用をもって感染症対策に努めました。

(4) 生活環境への配慮・衛生管理

居室は、プライベートスペースとして気兼ねなくゆっくり過ごしていただけるよう配慮に努めると共に、入居者同士の交流の場やご家族の方とのひとときの場としてセミパブリックスペースを設け、入居者に適した生活環境の整備を図りました。また、施設内の装飾や掲示物の工夫をもって楽しみある景観作りに努めました。

(5) 会議開催状況

施設の管理・運営や援助の方針の統一化を図るため、運営連絡会議(12回)、苦情解決事業連絡会議(3回)、ユニット会議(3回)、口腔ケア相談会議(2回)を開催しました。また、地域に開かれた施設運営とサービスの質の確保を目的に地域代表者等を委員とし、運営内容について地域から広く意見・助言を求め、運営推進会議(6回)を開催しました。

(6) 専門組織開催状況

本体施設である紫桐苑と連携し、各職種の代表の参加により入居者の生活援助の向上と充実を図るため、サービス向上委員会(3回)、入所検討委員会(4回)、事故防止検討委員会(3回)、感染症管理委員会(5回)、身体拘束廃止委員会(6回)の活動を展開しました。

(7) 職員研修

援助技術の向上や援助等に関する基礎知識の習得のため、内部研修を16回(87名参加)実施、外部研修に7回(13名参加)参加しました。また、先進施設視察研修を3回(19名参加)実施しました。

月	日	研修区分	研修内容	参加人数
5	9	内部研修	紙おむつ勉強会	11
	18	法人内部研修	第1回職員スキルアップ勉強会「接遇・コミュニケーション」	17
7	20	法人内部研修	第2回職員スキルアップ勉強会「個人情報保護・守秘義務」	2
8	28	外部研修	いわてユニットケア研究会(花巻市)～29	2
9	8	内部研修	ポジショニング・シーティング講座:外部講師(株)サンメディカル、(株)ライフステップサービス	10
	21	法人内部研修	第3職員スキルアップ勉強会「メンタルヘルス・結核」外部講師:宮古保健所	4
10	18	外部研修	第1班先進施設視察研修視察先:「特別養護老人ホームらふたあヒルズ」「地域密着型特別養護老人ホームサンホーム絆」	7
	24	外部研修	岩手県介護支援専門員更新研修(盛岡市)～26	1
	27	外部研修	生活相談員研修(盛岡市)	1
11	7	外部研修	第2班先進施設視察研修視察先:「地域密着型特別養護老人ホームサンホーム絆」	6
	9	法人内部研修	第2回職員スキルアップ勉強会「感染症」外部講師:(株)バイタルネット宮古支店、中外製薬(株)北東北支店	4
	13	外部研修	第3班先進施設視察研修視察先:「特別養護老人ホームらふたあヒルズ」「地域密着型特別養護老人ホームサンホーム絆」	6

月	日	区 分	研 修 内 容	参加人数
11	17	内部研修	介護機器説明会：外部講師（株）サンメディカル	4
	30	外部研修	いわてユニットケア研究会（盛岡市）	1
12	5	外部研修	第4班先進施設視察研修 視察先：「特別養護老人ホームらふたあヒルズ」	6
	7	法人全体研修	第1回接遇研修：外部講師 AI ビジネス 中村夢美子氏	7
	7	法人全体研修	第2回接遇研修：外部講師 AI ビジネス 中村夢美子氏	5
	13	外部研修	介護支援専門員更新研修（盛岡市）～14	1
1	26	法人全体研修	第1回接遇研修：外部講師 AI ビジネス 中村夢美子氏	5
	26	法人全体研修	第2回接遇研修：外部講師 AI ビジネス 中村夢美子氏	6
2	7	内部研修	口腔ケア研修：外部講師 新里診療所米澤歯科医師	3
	9	内部研修	第1回入居者生活体験（車イスに座り入居者として生活体験）	1
	13	内部研修	口腔ケア研修：外部講師 新里診療所米澤歯科医師	5
	15	内部研修	第2回入居者生活体験（車イスに座り入居者として生活体験）	1
	21	内部研修	第3回入居者生活体験（車イスに座り入居者として生活体験）	1
3	2	内部研修	KYT（危険予知訓練）研修会	4
	19	外部研修	介護報酬改定等に係る説明会（盛岡市）	1

（8）防災対策

災害発生時に入居者と職員が一体となって行動がとれるように防火・防災対策、水害・土砂災害対策を計画し、夜間・日中を想定した避難訓練等を実施しました。

月	日	内 容
5	23	第1回自衛消防訓練（初期消火訓練、台風10号災害時の現場視察）
6	8	消防設備保守点検（株式会社ダイトク）
	9	新里消防署立入検査
7	25	第2回自衛消防訓練（日中・浸水土砂災害想定避難訓練）
9	11	消防設備改修工事
11	10	第3回自衛消防訓練（スモークマシーン・初期消火訓練）
3	6	第4回自衛消防訓練（夜間想定避難訓練）

（9）交流・ボランティアの受入れ

地域行事への参加や小中学校・保育所との交流会やボランティアの受け入れを行い、地域の方々との交流の機会がもてるよう努めました。また、地域開放の取り組みとして地域の団体へ会議室や地域交流スペースを開放する取り組みを行いました。

月	日	団 体 名	区 分	主な活動内容
4	20	カフェいっぷく（介護予防世代間交流事業）	地域開放	地域交流スペースを利用

月	日	団 体 名	区 分	主な活動内容
5	18	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
6	15	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
7	20	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
8	3	青山学院女子短期大学	受入	ハワイアンダンス披露
	8	宮古市立新里中学校	受入	清掃活動受け入れ 16 名
	17	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
	29	宮古市立新里中学校	職員派遣	疑似体験事前学習講師 1 名派遣
9	6	宮古市立新里中学校	職員派遣	疑似体験学習講師 2 名派遣
	12	宮古市立新里小学校	職員派遣	疑似体験学習講師 1 名派遣
	20	宮古市立新里中学校	受入	職場体験受入 4 名
	21	宮古市立新里中学校	受入	職場体験受入 4 名
	21	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
10	19	宮古市立新里保育園	受入	園児とのふれあい交流会
	19	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	会議室を利用
11	16	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
12	21	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
	25	新里地区民生児童委員協議会	地域開放	会議室を利用
	26	宮古市立新里中学校	受入	清掃活動受け入れ 8 名
1	24	新里地区民生児童委員協議会	地域開放	会議室を利用
2	22	新里地区民生児童委員協議会	地域開放	会議室を利用
3	13	青山学院女子短期大学	受入	ハンドベル演奏
	14	新里地区認知症カフェ「かだってカフェ」	地域開放	地域交流スペースを利用
	15	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
	28	新里地区民生児童委員協議会	地域開放	会議室を利用

(10) 主な年間活動状況

月	日	活 動 等	月	日	活 動 等
4	11 18 25	体操サークル 喫茶「こびり」 手芸サークル	10	1 4 11 14 15 19 21 25	桐の花通信発行 体操サークル カラオケサークル 新里小学校学習発表会見学 新里祭り見学 新里保育所交流会 玄翁館祭手芸作品出品～22 手芸サークル
5	2 11 16 20 30	体操サークル カラオケを楽しむ会 喫茶「こびり」 新里小学校運動会見学 手芸サークル	11	2 9 16 22	体操サークル カラオケサークル 喫茶「こびり」 手芸サークル
6	1 6 13 27	桐の花通信発行 体操サークル 喫茶「こびり」 手芸サークル	12	1 6 12 21 28	桐の花通信発行 カラオケサークル 体操サークル クリスマス会食会 手芸サークル、第2回作品展示会～1/15
7	4 27	体操サークル 手芸サークル	1	9 12 13 14	体操サークル 水木団子づくり（こもれび） 水木団子づくり（ぬくもり） 水木団子づくり（やすらぎ）
8	1 4 8 10 13 20 26 29	桐の花通信発行 納涼祭 体操サークル 第1回手芸サークル作品展示～25 迎え火・花火大会 熊野神社例大祭神輿見学 流しそうめん 手芸サークル	2	3 6 13 20	節分 体操サークル カラオケサークル
9	6 13 15 20 21 27	体操サークル カラオケサークル 敬老会 体操サークル ラーメンの会 喫茶「こびり」	3	1 3 13 20 27	桐の花通信発行 ひなまつり カラオケサークル 体操サークル カラオケサークル

3 利用者の状況

(1) 年齢状況

区分	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	計
男	0	0	2	1	3	1	0	0	0	7
女	0	0	0	1	3	7	6	5	0	22
計	0	0	2	2	6	8	6	5	0	29
比率 (%)	0.0	0.0	6.9	6.9	20.7	27.6	20.7	17.2	0.0	100.0
平均年齢〔男性 81 歳 女性 89.4 歳 全体 87.1 歳〕 最高年齢 98 歳 最低年齢 73 歳										

(2) 在所期間状況

区分	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 10 年未満	計
男	2	1	4	7
女	3	4	15	22
計	5	5	19	29
比率 (%)	17.2	17.2	65.5	100.0
平均在所期間〔男性 3 年 5 ヶ月 女性 3 年 7 ヶ月 全体 3 年 7 ヶ月〕				
最高在所期間 男性 5 年 女性 5 年				

(3) 入退所状況

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規 入所者数	男	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
退所者数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
月 末 在所者数	男	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	7	7	—
	女	22	22	20	20	21	21	21	21	21	21	21	22	—
	計	29	29	27	28	29	29	29	29	29	29	28	29	—
退所者の平均在所者数〔3 年 10 ヶ月〕														

(4) 入所前の状況

区分	男	女	計
自宅	0	14	14
医療機関	1	0	1
老健他	6	8	14
計	7	22	29

(5) 退所後の状況

区 分	男	女	計
死 亡	1	3	4
長期入院	0	0	0
在宅復帰	0	0	0
計	1	3	4

(6) 介護区分状況

区 分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	1	3	3	7
女	0	1	5	10	6	22
計	0	1	6	13	9	29
比率 (%)	0.0	3.4	20.7	44.8	31.0	100.0
平均介護度〔男性 4.3 女性 4.0 全体 4.0〕						

(7) 面会状況

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
家 族	30	55	30	43	53	35	50	43	34	29	2	18	422
その他	7	8	1	5	2	4	3	2	5	2	0	3	42
計	37	63	31	48	55	39	53	45	39	31	2	21	464

(8) 要望・苦情・相談状況

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要 望	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
苦 情	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
相 談	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
計	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	6